

令和5年度

佐賀市民意向調査

（これからの“まちづくり”に関する市民意向調査）

ダイジェスト版

佐賀市では、『豊かな自然とこどもの笑顔が輝くまち さが』という将来像を定め、この将来像を実現するために『第2次佐賀市総合計画』に基づいたまちづくりを進めているところです。

このアンケート調査は、総合計画での「政策展開の基本方向」を構成する36の施策を中心に質問を設定し、市民が「佐賀市の現状をどのように感じているか」、そして「これからの“まちづくり”についてどのような意見を持っているか」などを把握し、市民の声を市政に反映させることを目的として、毎年1回実施しているものです。

調査の概要

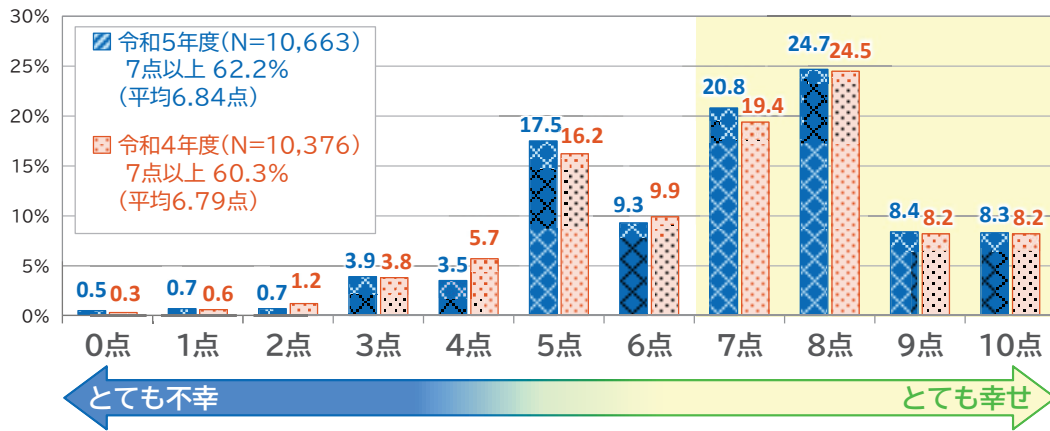
- 調査地域 : 佐賀市全域
- 調査対象 : 市内に居住する18歳以上
- 対象者数 : 5,000人
- 有効回収数 : 1,394サンプル（回収率27.9%） 補正後10,663サンプル※
- 抽出方法 : 旧市町村ごとに住民基本台帳から年齢階層別に無作為抽出
- 調査方法 : 郵送による配布、郵送による回収
- 調査時期 : 令和5年5月11日（木）～5月24日（水）
- 調査項目 : 問1 個人属性
問2 暮らしやすさの実感
問3 佐賀市への愛着
問4 今後の居住予定
問5 「幸福感」の現状
問6 まちづくりに対する「意識」
問7 まちづくりに対する「取り組み」
問8 市の施策の重要度と現状に対する満足度
問9 家事にかかる時間について
問10 市立図書館（本館）について
問11 市政に対する自由意見

※調査結果は、旧市町村の人口規模に応じた補正係数を乗じた値を用いて作成されています。

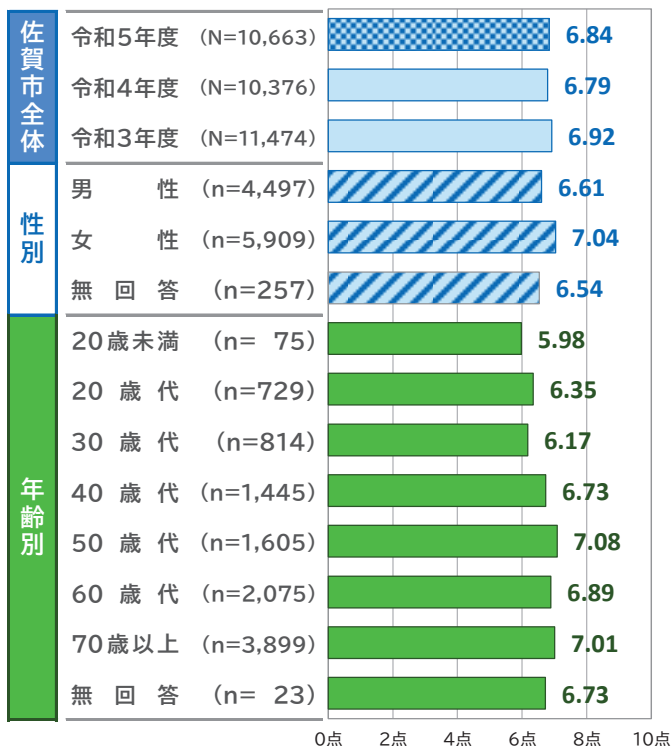
1 「幸福感」の現状

Q 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。

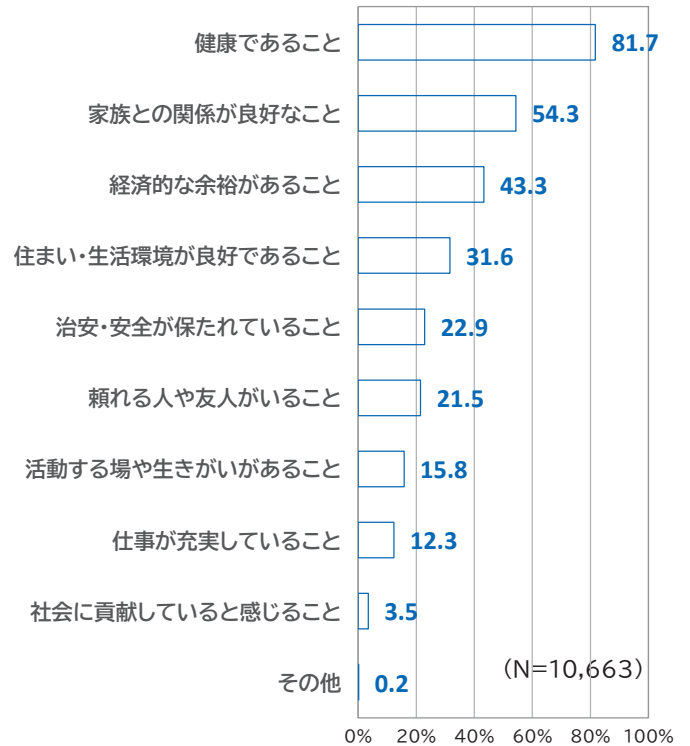
幸福感の現状



幸福感の平均値



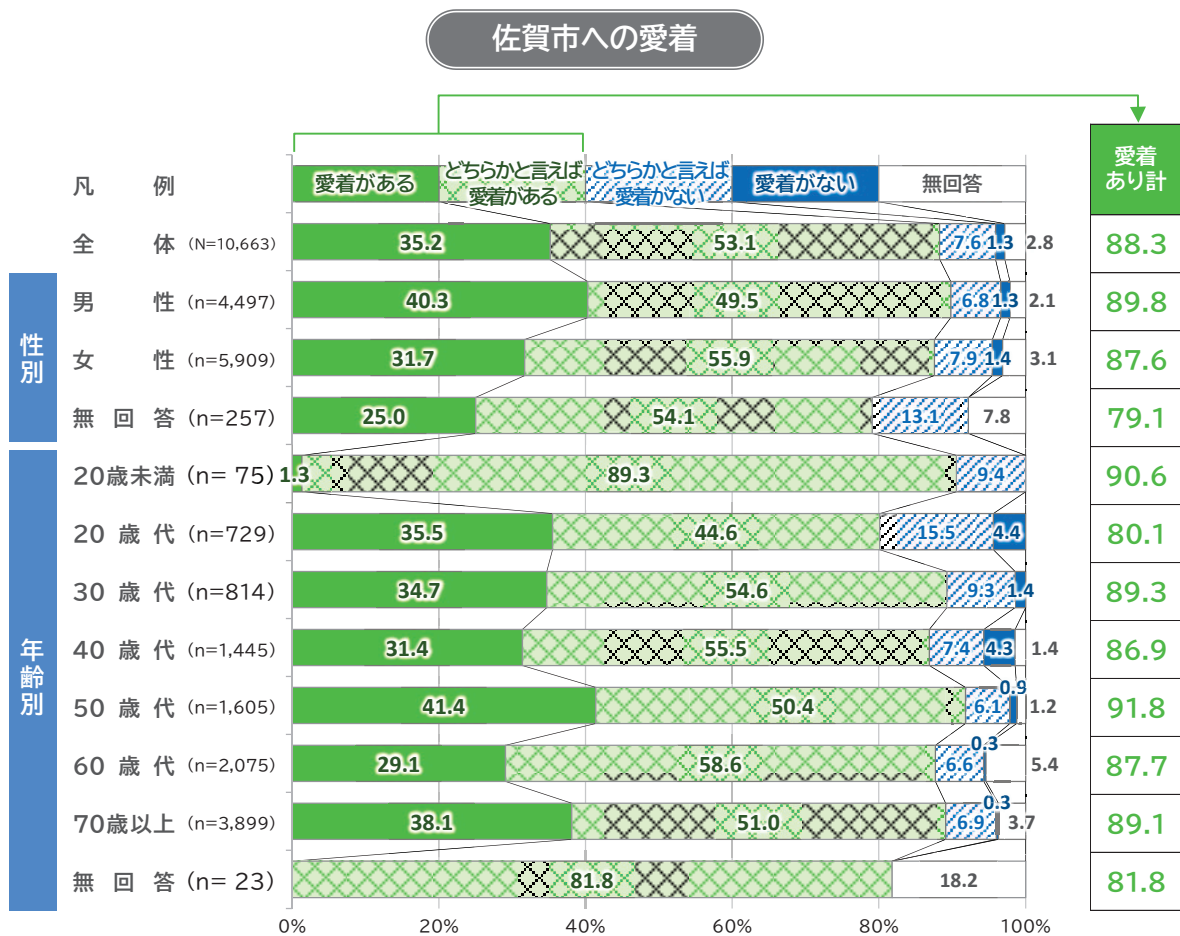
幸福感の重要点



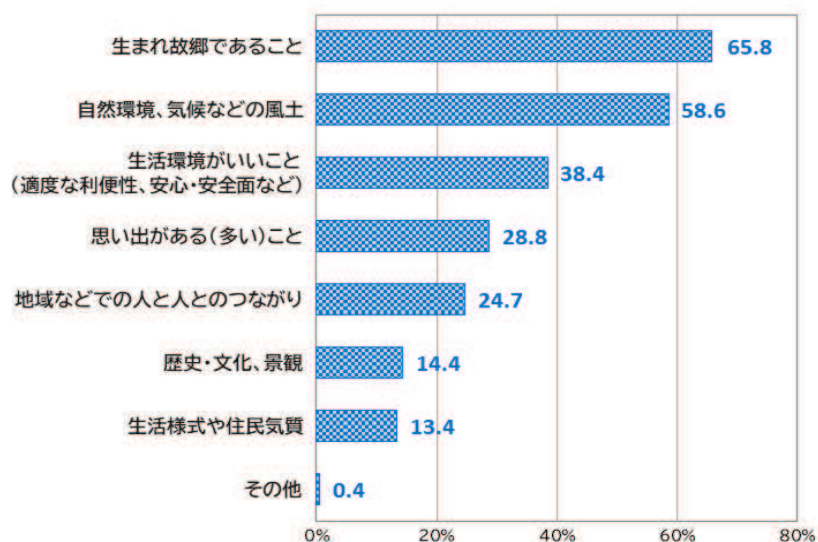
ポイント

幸福感の現状は、8点と答えた人が最も多く、7点以上の方が6割以上を占めています。また、佐賀市全体の幸福感の平均値は6.84点であり、令和4年度(6.79点)より高くなっています。

幸福感の重要点では、「健康であること」「家族との関係が良好なこと」が高くなっています。



愛着を感じる点



ポイント

佐賀市への愛着について、『愛着がある』と答える人は約9割を占め、50歳代(91.8%)の愛着度が最も高くなっています。また、愛着を感じる点は、「生まれ故郷であること」「自然環境、気候などの風土」「生活環境がいいこと」が上位にあげられています。

Q あなたが感じている「重要度」及び「現状の満足度」について、あてはまるものを選んでください。

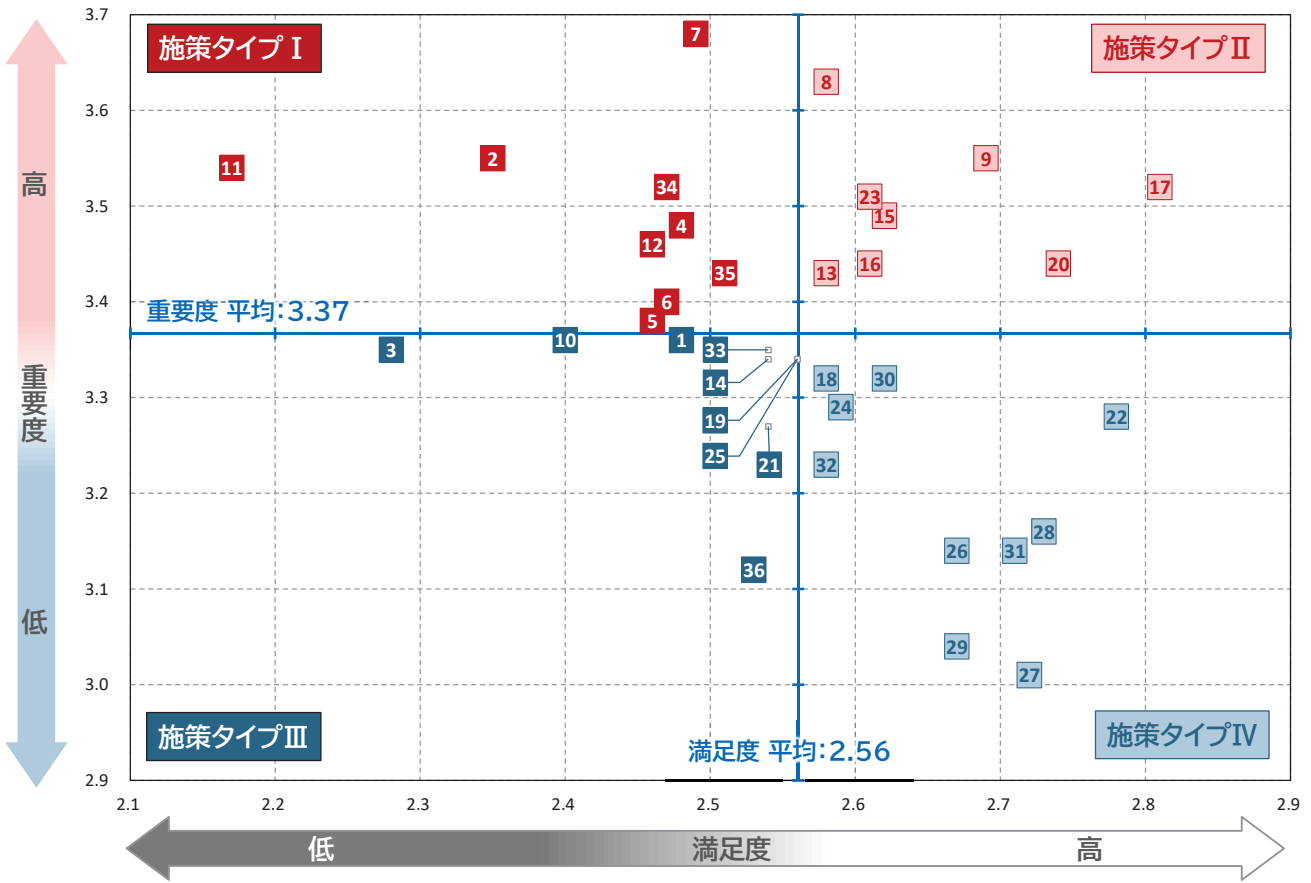
ポートフォリオ分析

- 【2】 活力ある商工業の振興
- 【4】 総合的な農業の振興
- 【5】 森林保全と林業の振興
- 【6】 特色ある水産業の振興
- 【7】 総合的な防災・危機管理対策の充実
- 【11】 市民生活を支える総合交通体系の確立
- 【12】 道路ネットワークの充実
- 【34】 財政の健全性の確保
- 【35】 職員の資質向上による業務執行体制の充実

- 【8】 安全で美しい河川環境の適切な管理
- 【9】 地域で守る生活者の安全確保
- 【13】 安全で快適な住宅環境の充実
- 【15】 住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実
- 【16】 共生社会をめざす障がい者福祉の充実
- 【17】 健康づくりの推進と保健・医療の連携
- 【20】 持続可能な循環型社会の構築
- 【23】 安心して子育てできる環境の充実

施策タイプ I 重要度 **高**↗ 満足度 **低**↘
優先して改善を要する施策

施策タイプ II 重要度 **高**↗ 満足度 **高**↗
現状の水準を維持する施策



施策タイプ III 重要度 **低**↘ 満足度 **低**↘
検討を要する施策

施策タイプ IV 重要度 **低**↘ 満足度 **高**↗
改善の必要性が低い施策

- 【1】 魅力ある観光の振興
- 【3】 賑わいあふれる中心市街地の活性化
- 【10】 計画的な土地利用の推進
- 【14】 互いに支え合う地域福祉の充実
- 【19】 地球にやさしい低炭素社会の構築
- 【21】 暮らしに身近な生活環境の向上
- 【25】 家庭・地域・企業等の教育力の向上
- 【33】 効果的・効率的な行政経営の推進
- 【36】 適正かつ効率的な議会活動への支援

- 【18】 自立を支える生活福祉の充実
- 【22】 都市のみどりと美しい景観の創出
- 【24】 就学前からの教育の充実
- 【26】 自ら学ぶ生涯学習の推進
- 【27】 誰もが親しめる市民スポーツの充実
- 【28】 未来につなげる文化の振興
- 【29】 参加と協働によるまちづくり
- 【30】 情報共有の推進
- 【31】 人権尊重の確立
- 【32】 個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現

ポートフォリオ分析による施策項目の優先性

	重要度		満足度		施策 タイプ
	得点	順位	得点	順位	
【1】魅力ある観光の振興	3.36	19	2.48	27	Ⅲ
【2】活力ある商工業の振興	3.55	4	2.35	34	Ⅰ
【3】賑わいあふれる中心市街地の活性化	3.35	20	2.28	35	Ⅲ
【4】総合的な農業の振興	3.48	10	2.48	28	Ⅰ
【5】森林保全と林業の振興	3.38	17	2.46	32	Ⅰ
【6】特色ある水産業の振興	3.40	16	2.47	30	Ⅰ
【7】総合的な防災・危機管理対策の充実	3.68	1	2.49	26	Ⅰ
【8】安全で美しい河川環境の適切な管理	3.63	2	2.58	16	Ⅱ
【9】地域で守る生活者の安全確保	3.55	3	2.69	7	Ⅱ
【10】計画的な土地利用の推進	3.36	18	2.40	33	Ⅲ
【11】市民生活を支える総合交通体系の確立	3.54	5	2.17	36	Ⅰ
【12】道路ネットワークの充実	3.46	11	2.46	31	Ⅰ
【13】安全で快適な住宅環境の充実	3.43	14	2.58	18	Ⅱ
【14】互いに支え合う地域福祉の充実	3.34	24	2.54	23	Ⅲ
【15】住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	3.49	9	2.62	10	Ⅱ
【16】共生社会をめざす障がい者福祉の充実	3.44	13	2.61	13	Ⅱ
【17】健康づくりの推進と保健・医療の連携	3.52	7	2.81	1	Ⅱ
【18】自立を支える生活福祉の充実	3.32	25	2.58	17	Ⅳ
【19】地球にやさしい低炭素社会の構築	3.34	23	2.56	20	Ⅲ
【20】持続可能な循環型社会の構築	3.44	12	2.74	3	Ⅱ
【21】暮らしに身近な生活環境の向上	3.27	29	2.54	22	Ⅲ
【22】都市のみどりと美しい景観の創出	3.28	28	2.78	2	Ⅳ
【23】安心して子育てできる環境の充実	3.51	8	2.61	12	Ⅱ
【24】就学前からの教育の充実	3.29	27	2.59	14	Ⅳ
【25】家庭・地域・企業等の教育力の向上	3.34	22	2.56	19	Ⅲ
【26】自ら学ぶ生涯学習の推進	3.14	33	2.67	9	Ⅳ
【27】誰もが親しめる市民スポーツの充実	3.01	36	2.72	5	Ⅳ
【28】未来につなげる文化の振興	3.16	31	2.73	4	Ⅳ
【29】参加と協働によるまちづくり	3.04	35	2.67	8	Ⅳ
【30】情報共有の推進	3.32	26	2.62	11	Ⅳ
【31】人権尊重の確立	3.14	32	2.71	6	Ⅳ
【32】個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現	3.23	30	2.58	15	Ⅳ
【33】効果的・効率的な行政経営の推進	3.35	21	2.54	21	Ⅲ
【34】財政の健全性の確保	3.52	6	2.47	29	Ⅰ
【35】職員の資質向上による業務執行体制の充実	3.43	15	2.51	25	Ⅰ
【36】適正かつ効率的な議会活動への支援	3.12	34	2.53	24	Ⅲ
平均値	3.37		2.56		

(注)順位は、小数点3位以下の値で判定している。

ポイント

佐賀市が取り組んでいる施策について、その満足の度合いと重要さの度合いを聞きました。施策タイプⅠ（優先して改善を要する施策）にあげられる項目は、「総合的な防災・危機管理対策の充実」など9項目ありました。

4 施策項目の対策必要度

Q あなたが感じている「重要度」及び「現状の満足度」について、あてはまるものを選んでください。

旧市町村ごとの施策項目の上位5位

	1位	2位	3位	4位	5位
佐賀市全体	11 市民生活を支える総合交通体系の確立	2 活力ある商工業の振興	7 総合的な防災・危機管理対策の充実	3 賑わいあふれる中心市街地の活性化	34 財政の健全性の確保
旧佐賀市	11 市民生活を支える総合交通体系の確立	2 活力ある商工業の振興	7 総合的な防災・危機管理対策の充実	3 賑わいあふれる中心市街地の活性化	10 計画的な土地利用の推進
旧諸富町	11 市民生活を支える総合交通体系の確立	3 賑わいあふれる中心市街地の活性化	7 総合的な防災・危機管理対策の充実	2 活力ある商工業の振興	8 安全で美しい河川環境の適切な管理
旧大和町	11 市民生活を支える総合交通体系の確立	2 活力ある商工業の振興	7 総合的な防災・危機管理対策の充実	3 賑わいあふれる中心市街地の活性化	34 財政の健全性の確保
旧富士町	11 市民生活を支える総合交通体系の確立	12 道路ネットワークの充実	2 活力ある商工業の振興	5 森林保全と林業の振興	4 総合的な農業の振興
旧三瀬村	11 市民生活を支える総合交通体系の確立	2 活力ある商工業の振興	4 総合的な農業の振興	5 森林保全と林業の振興	10 計画的な土地利用の推進
旧川副町	11 市民生活を支える総合交通体系の確立	2 活力ある商工業の振興	7 総合的な防災・危機管理対策の充実	8 安全で美しい河川環境の適切な管理	6 特色ある水産業の振興
旧東与賀町	11 市民生活を支える総合交通体系の確立	2 活力ある商工業の振興	3 賑わいあふれる中心市街地の活性化	12 道路ネットワークの充実	4 総合的な農業の振興 6 特色ある水産業の振興 15 住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実
旧久保田町	11 市民生活を支える総合交通体系の確立	7 総合的な防災・危機管理対策の充実	2 活力ある商工業の振興	34 財政の健全性の確保	1 魅力ある観光の振興

対策必要度の算出方法

対策必要度	=	不満度		×	重要度	
		満足している	1点		重要である	4点
		どちらかといえば満足	2点		ある程度重要である	3点
		どちらかといえば不満	3点		あまり重要ではない	2点
		不満である	4点		重要ではない	1点

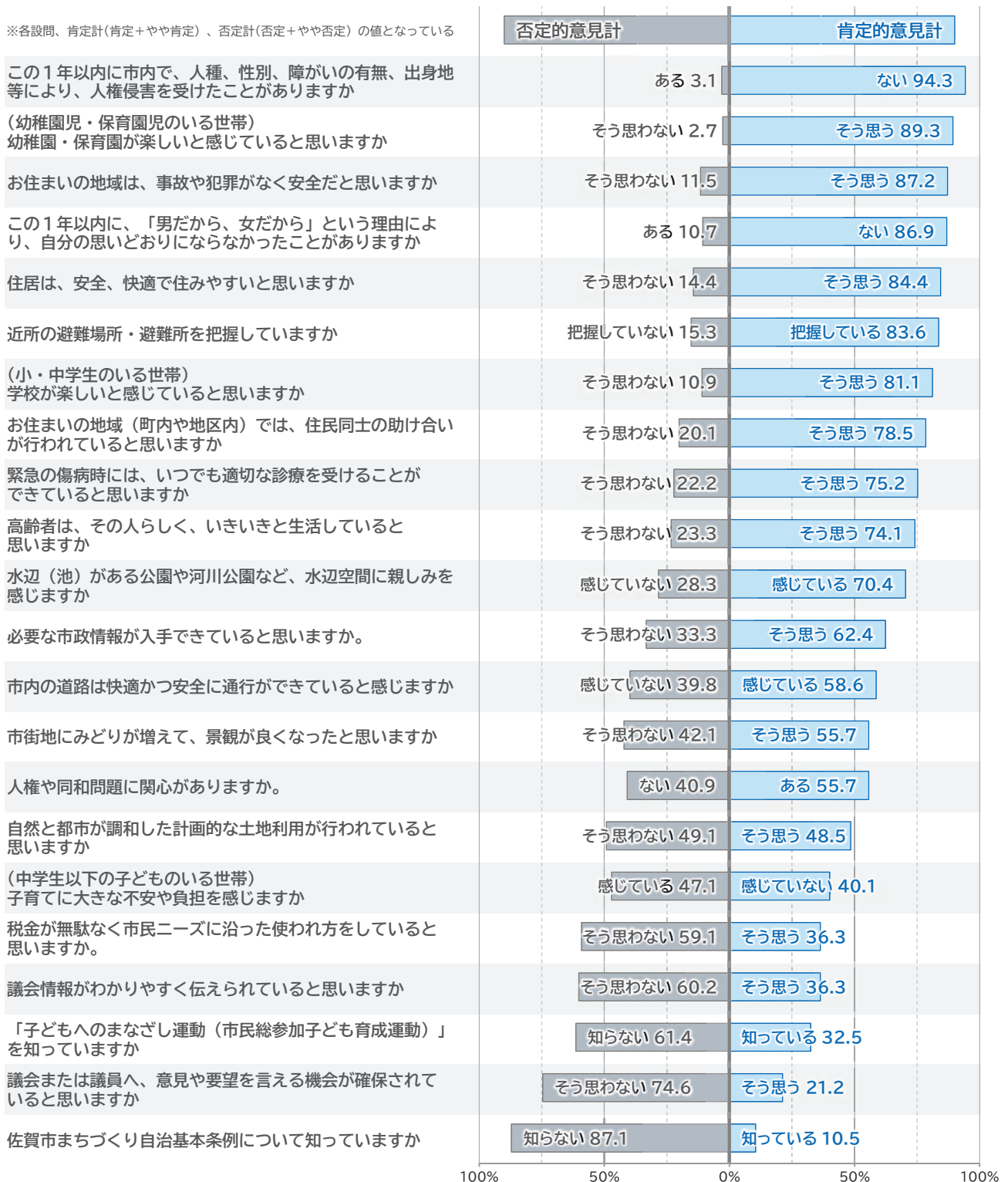
ポイント

「重要度」と「満足度」をもとに対策の必要度合いを算出した結果、すべての地区で「市民生活を支える総合交通体系の確立」が1位にあげられています。次いで2位は旧諸富町、旧富士町、旧久保田町を除く地区では「【2】活力ある商工業の振興」があげられており、旧諸富町では「【3】賑わいあふれる中心市街地の活性化」、旧富士町では「【12】道路ネットワークの充実」、旧久保田町では「【7】総合的な防災・危機管理対策の充実」となっています。



個人の「意識」

※各設問、肯定計(肯定+やや肯定)、否定計(否定+やや否定)の値となっている



ポイント

日頃の生活で、ご自身が感じていることについて聞きました。肯定的意見が多かったものは、「人権侵害を受けたことがない」「お子さんが幼稚園・保育園を楽しいと感じている」などでした。一方、肯定的意見が低い項目は「佐賀市まちづくり自治基本条例について知っていますか」でした。



日頃の生活における「取り組み」

※各設問、肯定計(肯定+やや肯定)、否定計(否定+やや否定)の値となっている



ポイント

日頃の生活で、ご自身が取り組んでいる人が多い項目は、「環境問題に対して意識的に取り組んでいる」「健康診断の結果を自分の健康管理に活かしている」「3年以上継続して健康診断を受けている」「市報さがを読んでいる」などでした。一方、取り組んでいる人が少ない項目は、「歴史関連のイベント等や活動への参加」「災害に備えての準備」「知識や技術を身に付けるための取り組み」などでした。

